

Part1102 ◆不均衡を是正する「市場の調整機能」－その1

「市場の調整機能」は, Part1101 の「市場均衡」と密接に関係するテーマで, 市場理論の1ジャンルです。

何らかの原因で市場均衡からずれて不均衡となってしまった場合に, 再び市場均衡の状態に戻る力が働くことを, 「市場が安定している」といいます。

この均衡に戻っていく過程を「調整過程」といい, 2人の経済学者が異なる考え方(理論)を示しています。それぞれ, 2人の名にちなんで「ワルラス調整過程」, 「マーシャル調整過程」と呼ばれています。また, 「マーシャル調整過程」の変形したものとして, 「くもの巣調整過程(くもの巣理論)」と呼ばれるものがあります。今回は, これらのうち, 「ワルラス調整過程」のみに絞り, 「マーシャル調整過程」と「くもの巣調整過程」は後述します。

1) ワルラス安定

ワルラスの考え方は, 価格の上下によって調整されるというものです。市場が安定しているときは, 価格が

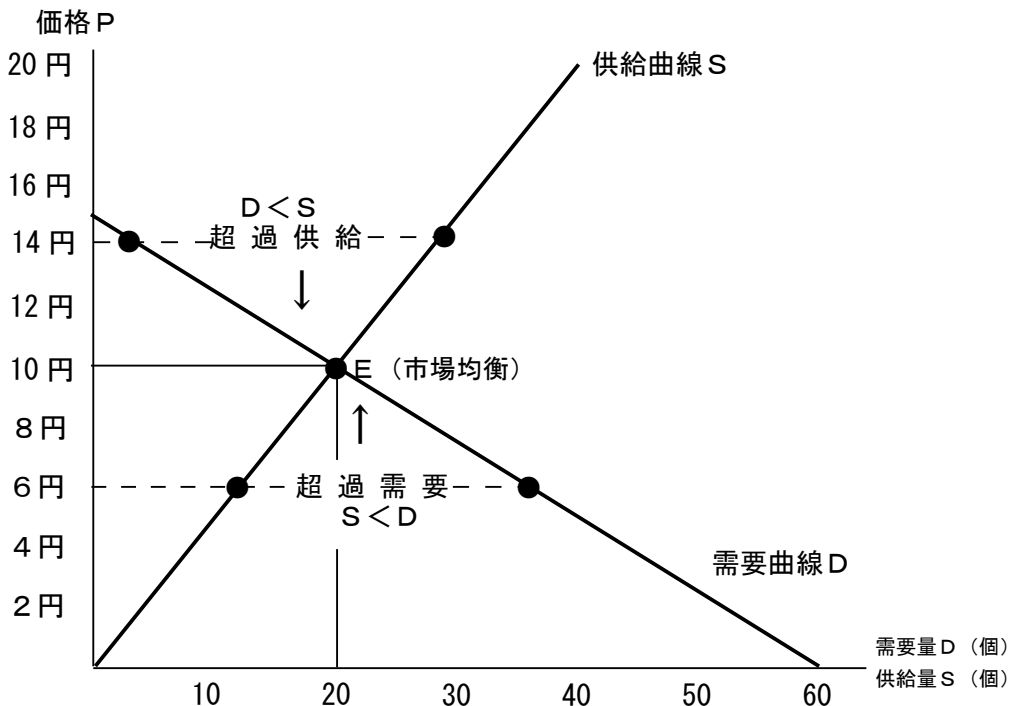
均衡価格より高い→超過供給(需要<供給)→売れ残って価格が下落
均衡価格より低い→超過需要(供給<需要)→モノ不足で価格が上昇
という状況となり, いずれの場合も市場均衡に戻るという考え方です。そして, このように不均衡が是正されて均衡に戻ることを「ワルラス安定」といいます。

例題 1-1 を例にして見れば,

例えば, 価格 $P = 14$ のとき, 均衡価格 10 円より高いため, 超過供給 ($D < S$) となり, 売れ残って価格が下落し,

例えば, 価格 $P = 6$ のとき, 均衡価格 10 円より低いため, 超過需要 ($S < D$) となり, モノ不足で価格が上昇し,

結果的には, 超過供給も超過需要もない市場均衡に戻るということです。



2) ワルラス不安定

このPartのタイトルは「不均衡を是正する…」なのですが、実は経済学では、是正できないケースも想定されています。

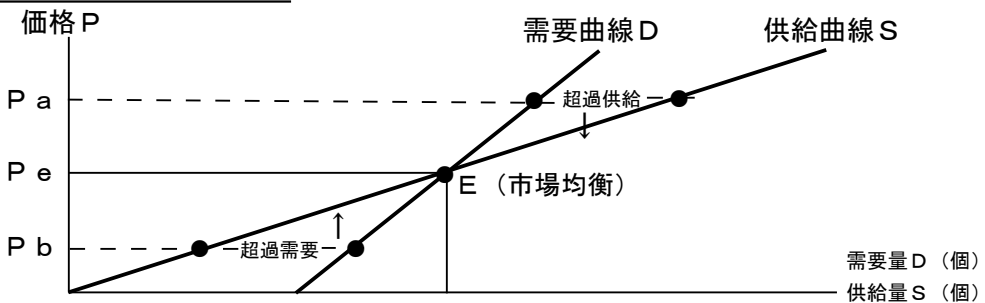
Part0101で、需要曲線Dについて、次のように説明しました。
「需要曲線Dは、消費者たちの需要量と需要価格の組合せを示します。需要価格とは消費者たちの希望上限価格（この額以下の価格で買いたいと考える価格）で、価格が低いほど消費者が増え、需要量も増えます。」

一般に、ある財の価格が下落すれば、それを消費（購入）する人が増えて需要量が増加しますから、この説明は正しいです。しかし、実際には、需要が増加すると価格が上昇するような財も存在します。

「価格が下落すれば需要は増える」という状況が続くのは、消費者の需要量がどんなに増加しても、それを支えることができる生産者の供給能力があるときです。生産者がいくら供給量を増やしたいと思っても、例えば入手可能な原材料や資源に限りがあるなど、供給量を増やせないことがあります。そんな場合は、価格が上昇しても需要量は減少せず、さらに価格が上昇することになりかねません。

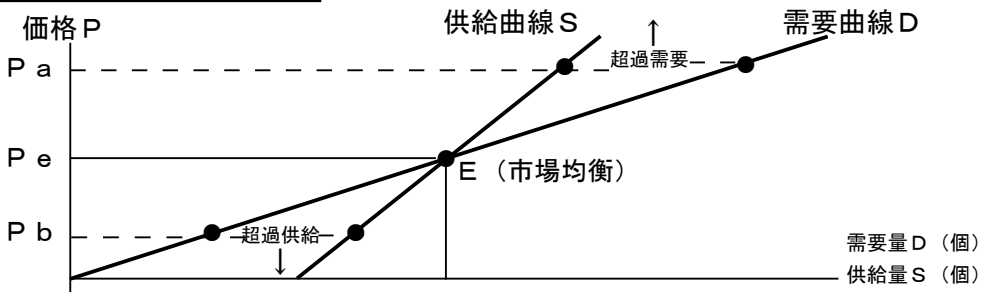
ではここで、需要曲線、供給曲線ともに右上がりになる2つケースを見てみましょう。

case1) ワルラス安定の例



価格が P a のとき、超過供給 ($D < S$) ですから価格は下落し、
P b のとき、超過需要 ($S < D$) ですから価格は上昇し、
いずれも市場均衡に近づきますから、この case は「ワルラス安定」です。

case2) ワルラス不安定の例

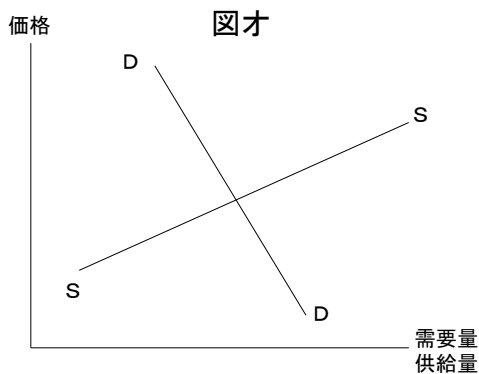
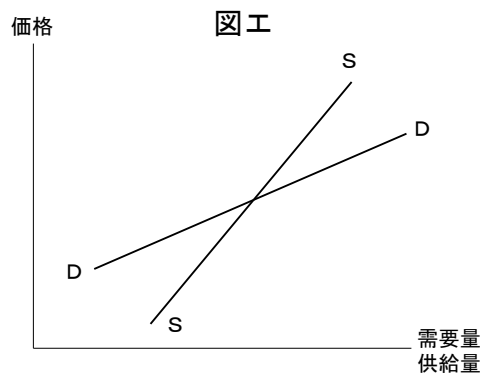
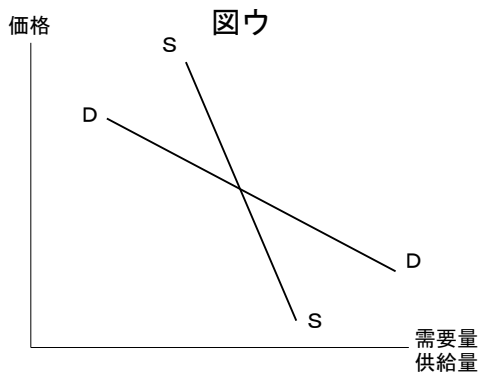
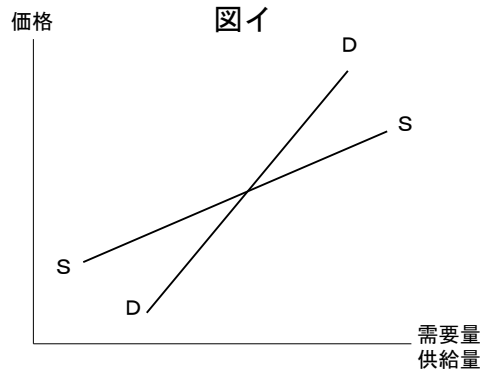
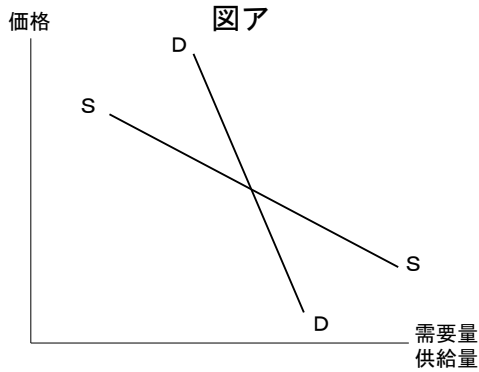


価格が P a のとき、超過需要 ($S < D$) ですから価格は上昇し、
P b のとき、超過供給 ($D < S$) ですから価格は下落し、
いずれも市場均衡から離れていきますから、この case は「ワルラス不安定」です。

※例題なしで、いきなり問題とします。

問題 2-1 (2011 年東京特別区 I 類 24)

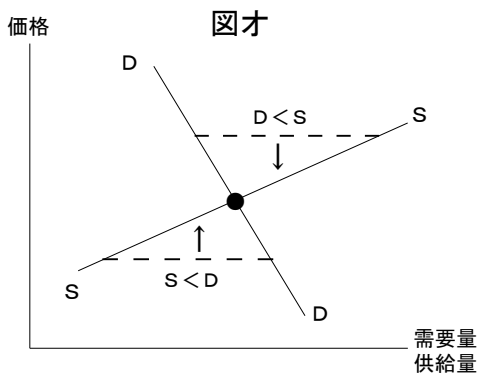
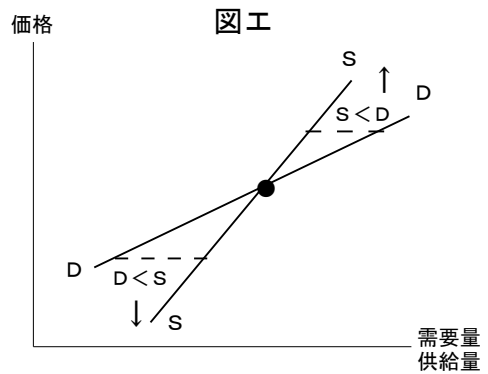
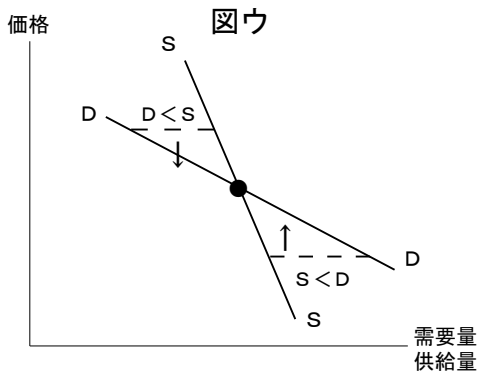
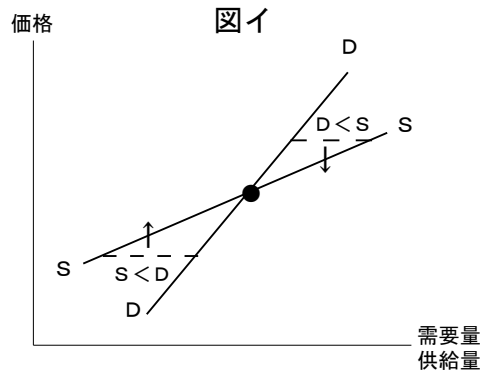
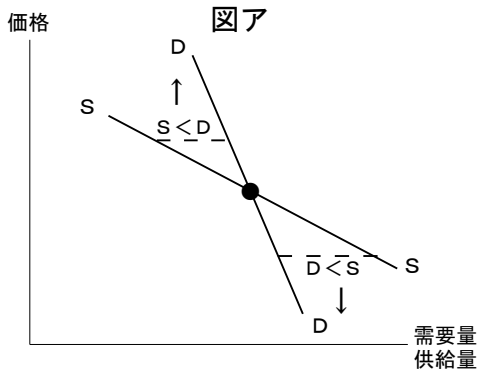
次の図ア～オは、縦軸に価格、横軸に需要量・供給量を取り、市場におけるある商品の需要曲線を DD 、供給曲線を SS で表したものであるが、このうちワルラス的調整過程において、均衡が安定的であるものを選んだ組合せとして、妥当なのはどれか。



1. ア, イ, エ
2. ア, ウ, エ
3. ア, ウ, オ
4. イ, ウ, オ
5. イ, エ, オ

問題 2-1

特別区の択一式試験のうち、専門試験は比較的容易な問題も目立つのですが、この問題は……。上級はおろか、初球の教養試験の中の社会科学（通称、政治・経済）で出題されても不思議でないレベルではないかと…



$S < D$, $D < S$ いずれの状態においても、価格が市場均衡価格（図の●）に近づく動きとなるのは、図イ、ウ、オの3つです。

「正解 4」となります。